

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名	市勢振興功労者表彰事務			事業コード	0008
担当課等	所属名	総務部 総務課	担当係名		
	課長名	総務部 総務課	担当者名	嵯峨 秀俊	電話番号

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	信頼される質の高い行政	コード 8	施策	市民とともにつくる行政の実現	コード 3
	基本事業	市民参加の推進	コード 3	関連予算 費目名	一般会計 2款 1項 1目 市勢振興功労者表彰事務 (003-01)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度 ⇒ (開始年度 30年度～)					
事務事業の概要	公共の福祉と市勢の進展につくした功績が極めて顕著である者を盛岡市表彰条例に基づき、市勢振興功労者として表彰している。昭和30年度(第1回)に始まり、平成21年度は第55回目の表彰を行った。					
根拠法令等	盛岡市表彰条例					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
昭和30年度に市の最高の栄誉となる表彰制度として創設された。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
表彰選考委員のひとりから、「市の機関から推薦がされた人ばかりが表彰されているので、選考委員も表彰対象にふさわしい人を積極的に推薦するべき」との意見があった。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどうか。今後の見通しはどうか						
住民ニーズ(価値観)が多様化、複雑化する中、行政だけでは公共的サービスの提供が困難となっており、市民参加による協働のまちづくりの重要性が高まっている。市では、市勢の進展につくした方の功績を顕彰し称えるなど、多くの市民や団体が積極的に市勢に参加したくなるような環境を整える必要がある。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	市の区域内に住所を有する者及び団体	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 市民 B. 団体 C.	単位 人 単位 団体 単位
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) 公共の福祉と市勢の進展につくし、功績が極めて顕著で他の模範となる者及び団体を表彰し、広く市民に周知を行った。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) 公共の福祉と市勢の進展につくし、功績が極めて顕著で他の模範となる者及び団体を表彰し、広く市民に周知を行う。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 表彰者(団体)数 B. 被表彰者の功績等の広報回数 C. 表彰式参加者数	単位 人 単位 回 単位 人
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	被表彰者の功績の一端に報いるとともに、それを範として、市民及び団体の公益的活動が促進されることを期待する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 既表彰者(団体)数 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】 B. 表彰候補者(団体)数 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input checked="" type="radio"/> 維持する】 C. 【指標の性格: <input type="radio"/> 上げる <input type="radio"/> 下げる <input type="radio"/> 維持する】	単位 人 単位 人 単位
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	自主的にまちづくりの一翼を担う	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	協働事業の件数(単位: 件)	

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	市民	人	297,592	297,592	297,267	298,148	298,148	298,148	年度
対象 指標B	団体	団体	16,969	16,944	16,944	16,916	16,916	16,916	年度
対象 指標C									年度
活動 指標A	表彰者(団体)数	人	4	4	5	5	5	5	年度
活動 指標B	被表彰者の功績等の広報回数	回	4	4	4	4	4	4	年度
活動 指標C	表彰式参列者数	人	139	142	160	130	150	150	年度
成果 指標A	既表彰者(団体)数	人	300	304	309	309	314	319	年度
成果 指標B	表彰候補者(団体)数	人	10	8	10	9	10	10	年度
成果 指標C									年度

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	899	892	1,065	1,065	1,062	1,062	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	899	892	1,065	1,065	1,062	1,062	*****
	⑧その他	千円							*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	899	892	1,065	1,065	1,062	1,062	*****
	延べ業務時間数	時間	396	396	396	396	396	396	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	1,584	1,584	1,584	1,584	1,584	1,584	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	2,483	2,476	2,649	2,649	2,646	2,646	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	①施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由:市勢振興に貢献した方を表彰し、功績を顕彰することにより、それを模範として市民及び団体の公益的活動が促進され、協働のまちづくりが推進される。
	②公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	③対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input type="radio"/> その他
	④意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	理由: ↳「妥当」とする理由: <input checked="" type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> その他
有効性評価	⑤成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 向上余地がない	理由:昭和30年以来、表彰条例に基づき継続して実施してきたもので、市の最高の栄誉となる表彰として定着しており、これ以上成果が上がる余地がない。
	⑥廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容:市勢振興のために尽力した方を表彰することは、市民のコンセンサスを得られているものとする。廃止した場合、市民や市政参加者の信頼を損ねることとなり、各界からの批判も予想される。
	⑦類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 類似事業がある <input type="radio"/> 類似事業がない	事業名:国、県等をはじめ行政各分野において表彰制度がある。 ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> できない 理由:盛岡市勢に対する功労者として独自に表彰するものであり、他の表彰制度と統合できない。
効率性評価	⑧事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:市の最高の栄誉となる表彰式であることから、相応の格式も保つ必要があり、その考えの中で必要最小限の経費で実施している。
	⑨人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 削減できない	理由:表彰事務を円滑に行うための必要最低限の人・経費で実施している。また、表彰式当日は、他の部署からも応援をいただき運営している。
公平性評価	⑩受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:被表彰者については、表彰選考委員会に諮問して決定しており、公平・公正である。
	⑪費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由:表彰という性格上、受益者負担を求める性格の事業ではない。

